

NEWS RELEASE

2026年7月27日

会社名 ナイル株式会社
代表者 代表取締役社長 高橋 飛翔
(コード：5618 東証グロース)
問合せ先 取締役 コーポレート本部 本部長 長澤 斉
(電話番号：03-6682-9692)

ナイル、生成AIの誤情報からブランドを守る

「AIブランドプロテクトサービス」の提供を開始。

～既存DXコンサルティング知見を活用し、生成AI時代の新たなブランドリスク領域に対応～

生成AIの誤情報 からブランドを守る

AIブランドプロテクト

サービス提供開始



ナイル株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高橋 飛翔、以下ナイル）は、生成AIやGoogleの検索結果に表示される「AIによる概要（AI Overviews）」、AIモードにおける自社ブランドの表示状況をモニタリングし、誤情報やブランド毀損コンテンツを「検知」するだけでなく「改善施策の実行」「効果確認」までを一気通貫で支援するコンサルティングサービス「AIブランドプロテクト」の提供を開始しました。

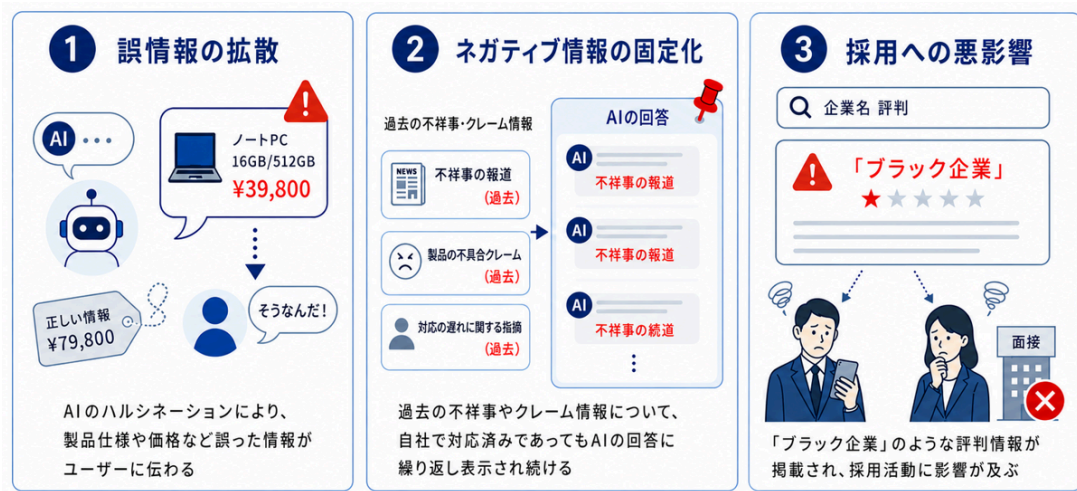
サービスの詳細はこちら：<https://www.seohacks.net/ebook/30706/>

1. 本事業開始の背景および目的

ChatGPTやGemini、Perplexity等の生成AIが情報取得の主要チャネルとして定着しつつあるほか、Googleも検索結果に「AIによる概要（AI Overviews）」・AIモードを統合しており、ユーザーは検索結果に加え「AIの回答」を参照した上で意思決定を行う機会が増えています。

こうした変化に伴い、企業には従来の検索エンジン最適化（SEO）やレピュテーション管理では捕捉しきれない、AIの回答上での誤情報・ネガティブ表示という新しいブランドリスクが生じています。

<AI時代の新たなブランドリスク>



こうしたリスクは、複数のAIを横断して定点観測し、問題の参照元サイトを特定した上で改善まで行う必要があり、Googleへのフィードバックや参照元への修正依頼、コンテンツの整備など打ち手は多岐にわたり、自社対応が難しい領域です。

当社はこれまで、ホリゾンタルDX事業等を通じて2,000社以上の企業に対しDXおよびマーケティングのコンサルティング支援を行ってまいりました。この度、これまでに培ったSEOやAI検索（LLMO）のノウハウを活用し、生成AI時代の新たなブランドリスクに対応する「AIブランドプロテクト」の提供開始にいたしました。

2. 「AIブランドプロテクト」の概要と特徴

本サービスは、自社開発のモニタリングツールによりChatGPT・Gemini・GoogleのAI Overviews・

AIモードにおける表示状況を定期的に検知し、誤情報・ネガティブ表示に対する改善施策の立案から実行支援、効果検証までを一気通貫で支援するコンサルティングサービスです。

■検知から改善実行・効果確認までの一気通貫支援

初期診断で現状を把握した後、月次で変化を追いながら改善施策を実行し、施策後の回答変化まで確認します。スポット診断のみの対応も可能です。

■自社ツール×AI×コンサルタントによる多層的な分析体制

自社開発のモニタリングツールによる回答データの自動取得に加え、AIによる一次分析（事実関係の正誤判定等）、コンサルタントによる二次分析（誤検知の排除・改善優先度の判断）を組み合わせた分析体制を構築しています。

■ブランドに関わる主要領域を横断したリスク管理

企業のブランド課題に応じて、複数領域を横断的にモニタリング・改善する体制を整えています。

サービスの詳細はこちら：<https://www.seohacks.net/ebook/30706/>

3.本事業の強み

■豊富なSEO・AI検索（LLMO）支援実績に基づく差別化

当社は、ホリゾンタルDX事業を通じて2,000社以上の企業に対しSEOをはじめとしたDX・マーケティングコンサルティングを提供してきた実績に加え、生成AI時代の検索最適化領域であるAI検索（LLMO）支援においても豊富な支援実績を有しています。

検索エンジンと生成AI双方への知見を土台に、検知にとどまらず改善提案・実行まで担えることが、他のモニタリングサービスにはない本質的な差別化要因です。

■生成AI時代における事業機会の拡大

生成AIが情報接触チャネルとして急速に浸透する中、企業のブランドリスク対応に対するニーズは今後さらに拡大していくものと見込んでおり、本サービスはその受け皿として位置づけられます。

■収益源の多角化

これまで当社のAI・DX・マーケティングの知見は主にコンサルティングを通じて収益化されてきました。本サービスにより、同一の知識資産をブランドリスク管理という新たな領域にも展開することが



可能となり、提供価値と収益機会の拡張を図ります。

今後の見通し

本件が業績に与える影響は軽微であり、修正の必要が生じた場合、速やかに業績予想の公表を行います。

会社概要

社名：ナイル株式会社

本社所在地：東京都品川区東五反田1丁目24-2 JRE東五反田一丁目ビル7F

設立：2007年1月15日

代表者：代表取締役社長 高橋 飛翔

証券コード：5618（東証グロース市場）

事業内容：自動車産業DX事業、ホリゾンタルDX事業

URL：<https://nyle.co.jp/>